



各位

2022年12月23日

会社名ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 春日博文
(コード番号：7047 東証グロース・福証Q-Board)
問い合わせ先 常務執行役員兼財務IR部長 辻本拓
TEL. 03-5937-6466

四半期Q & A

2022年10月～12月

2022年10月中旬～12月中旬に、投資家様より頂戴した主なご質問とその回答についてレポートいたします。2022年12月8日（木）に開催した個人投資家向け説明会（スピーカー：常務執行役員 辻本拓）で頂いた質問に対する回答も掲載しております。なお、理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

1. 業績について

#中期経営計画

Q. 第2四半期の決算発表前に通期業績予想の上方修正を開示した理由を教えてください。

開示のタイミングについてですが、基本的には確定時点で開示をするという方針を掲げております。そのため、確定時点で開示を行っており、そのタイミングが決算前になりました。

#業績予想

Q. EBITDA20億円の達成はどのくらいの確度でみえていますでしょうか。進捗率が52%の状況を踏まえれば、更なる上方修正も期待できると思いますが、いかがでしょうか。

当初から目標としているEBITDA20億円を変わらず目指して取り組んでおります。今回、上方修正を行っておりますが、第2四半期累計時点での上振れ分を鑑みて通期の修正を行っております。第3四半期、第4四半期も成長を維持し、利益を計上していけば当初の目標も狙える状況にあると思っております。状況の進捗等で必要があれば開示させていただきます。

Q. 今期の業績に影響を与えそうな要因は何でしょうか。

プラスマイナスさまざまな要因がありますが、ネガティブ要因のみをお伝えしますと、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動がストップ、停滞することになると、就職やカードローン等に影響します。また、国際情勢、地政学リスクがさらに悪化することになると資源価格が高騰するので、エネルギー等に影響します。計画はこのような影響を一定程度織り込んだ見込みにはなっていますが、ネガティブ要因を払拭し、高い成長を実現して参ります。

#来期以降

Q. 来期以降の利益の見通しを教えてください。売上収益は毎年30%ずつ増やしていく方向のようですが、利益も同様に増やしていく見込みなのでしょうか。それとも、再度積極的に投資をして利益を抑えるといった計画なのでしょうか。

ご質問の通り、来期以降も売上収益30%以上の成長持続していく目線は変わっておりません。中期経営計画最終年度の目標を達成するためにも、また今後の持続的な成長のためにも、成長投資は積極的に行っていく予定です。上半期の好決算も第1四半期、第2四半期共に成長投資を行った上での結果になります。そのため下半期、来期以降も同様に投資を行いながら売上収益、利益共に成長していきたいと考えております。具体的な数値は今期の本決算のタイミングではお示しさせていただきます。

2. 会社全体について

#競合

Q. 競合と考えている企業を領域ごとに教えてください。

本件については具体的な企業名については立场上控えるべきものかと存じますが、就職領域については明確な競合企業は上場企業に存在しておりません。この領域では人材会社向けの送客ビジネスと人材紹介ビジネスを行っておりますが、特に前者はGoogle、Yahoo!など広告プラットフォームに広告を配信して、就職ユーザーを各社獲得しているところを当社がリプレースしている状況になります。その他領域についても当然ながら各領域にプレイヤーは存在していますが、一定程度のシェアを獲得しております。

#ユーザー獲得

Q. 顧客獲得（ユーザーとサプライヤー）はどのようなアプローチをしているかご教示ください。

ユーザーの獲得は主にWebマーケティング活動を通じて行っております。我々は就職、リフォーム、カードローン、エネルギーなど、普遍性の高い領域の情報を扱っているため、コンテンツがストックしやすく、継続的にユーザー集客が可能となっております。また、サプライヤーについては全て成果報酬型を採用しております。その結果、サプライヤーはリスクなく当社のサービスを活用していただけるという点が強みです。

#業界シェア率

Q. 貴社のPR業界のシェアはどのくらいとお考えでしょうか。

領域ごとにシェアは異なります。就職は就活生の75%程度が利用していただいております。リフォームは施工加盟店が4,500社以上となっておりNo.1、カードローンは送客数が業界3位、エネルギーは送客数がNo.1となっております。

3. 各領域に関する質問

#就職

Q. 新規顧客が大幅に伸びた理由をご教示ください。

新規顧客、マッチング共に大幅に成長しております。要因としては、当社が現在中期経営計画の最終年度にあたるのですが、これまで営業人材の確保に加えて、マッチング実績によるインバウンド集客についても非常に好調になっているためとなります。こちらはまたマーケットの追い風もありますので継続する想定です。

Q. サプライヤーをストックしているとのことですが、ユーザーとマッチングできずにいる方にはケアは行き届いているのでしょうか。

おっしゃる通りの懸念はございます。我々は月額でフィーなどをいただいているものではありませんので、明確に解約という概念はありませんが、決定が出ていない企業様に対しても継続的に採用状況等についてヒアリングするよう努めております。

Q. 送客と人材紹介の内訳を教えてください。

送客、人材紹介ともに伸びておりますが、第2四半期に関しては人材紹介の伸び率が高くなっております。第2四半期における就職領域の売上収益は9億3,900万円ございますが、内訳は送客が5億円、人材紹介が4億3,800万円になっております。伸び率でみると人材紹介は73%伸びており、これは送客よりも高い伸び率となっております。

#カードローン

Q. カードローン領域はいつ回復する予定ですか。

カードローン領域についても、直近四半期は極めて厳しい状況ではありましたが、第3四半期以降はしっかりと増収していく方針のため、今後のIRで懸念払拭を目指します。

#エネルギー

Q. エネルギー領域について、第2四半期決算説明資料の中に、「一時的な費用5,000万円を計上」とありましたがどのような費用がかかったのでしょうか。また、上方修正時に見込めなかった理由を教えてください。

皆様に対しては、「適時適切な状況を開示していく」という方針を掲げております。その方針のもと3月31日、8月1日、10月24日にエネルギー領域の状況について開示を行いました。10月24日には第2四半期の状況についてご報告をさせていただきましたが、こちらは年間の事業利益計画である3億8,000万円前後に着地見込みだったことも開示を行っております。その後、決算確定を進めていく中で、一時的な費用5000万円の計上がございましたので、第2四半期の決算説明資料にはこちらの説明も記載し発表させていただきました。10月

24日のタイミングで確定できていなかったという点に関しては、今後の改善につなげていきたいと考えております。

4. その他

#株主還元

Q. 株主還元についてはどのように考えていますか。

株主の皆様に対する利益還元は、経営の重要課題の一つと認識しております。ただし、成長フェーズにある現状においては、更なる企業価値向上を図ることが、株主の皆様への最大の利益還元につながると考え、成長投資を優先させる方針をとっております。ただし、当社が考える適正な株価水準を大きく下回っている状況においては、財務状況等を総合的に勘案し、自己株取得も実施をさせていただいており、2022年2月から3月にかけて2億円の自己株式の取得、2022年5月から6月にかけて2億円の自己株式の取得を実施いたしました。取得させていただいた自己株式については、将来のM&A等に活用させていただければと考えております。

#自己資本比率

Q. 自己資本比率が低い理由を教えてください。

企業価値の更なる向上の為に成長投資を積極的に行っており、成長戦略の一つとしてM&Aも積極的に行っております。M&Aを実施する際には対象やバリュエーション等について基準を持って行っておりますが、2020年にリフォーム領域を展開するドアーズ社を子会社化、就職領域のメディアである就活会議を子会社化のM&Aを実施しております。また、2021年11月にエネルギー領域のINE社の51%株式取得を決定しております。その際、M&A取得資金を銀行借入による調達で実行しておりますが、大きくはM&A実施により自己資本比率が低下しております。

#外部環境

Q. コロナと為替と金利で影響を受けていますか。

コロナは全ての領域に影響を及ぼしている状況です。長期化はネガティブですが、現状はその影響を受けた状態のためこの影響が全てなくなると、非常にポジティブな状態になると考えております。

#投資

Q. 個人投資家と機関投資家はどのくらい投資をしていますか。

株価上昇に向けては業績成長とIR活動になりますが、IR活動は特に個人投資家様向けには毎回のIR時の動画解説、決算説明タイミングでのリアルタイムディスカッションの導入を行っ

ております。機関投資家様へは1 on 1 ミーティング回数をKPIに定めて常に増加させています。

会社概要

会社名 : ポート株式会社
代表者 : 代表取締役社長CEO 春日博文
所在地 : 東京都新宿区北新宿2-21-1新宿フロントタワー5階
設立 : 2011年4月
資本金 : 941百万円 (2022年9月末時点)
URL : <https://www.theport.jp/>

■本件に関するお問い合わせ

ポート株式会社 : 広報IR担当

コーポレートサイト : <https://www.theport.jp/>

E-mail : ir@theport.jp TEL : 03-5937-6731

※全社原則在宅勤務を実施しており、お電話が通じにくくなる可能性があります。
お問い合わせはE-mailまでお願いできますと幸いです。